

令和6年度「青少年団体等顕彰」受賞者一覧

□ 青少年団体・青少年グループ

(敬称略)

NO	団体名(代表者名)	所在地	設立年月日	構成人員	活動内容(推薦団体名)
1	リーダーズ・クラブ・小美玉 (会長 近藤 梓)	小美玉市	2016 ・ 4 ・ 20	13人	市子ども会育成連合会に所属し、市子連主催のジュニアリーダー研修会、みんなのあそび広場及び単位子ども会活動のお楽しみ会やクリスマス会などに積極的に協力し、子どもたちの身近な存在として、若者による地域づくりに貢献している。また、県子連主催の2024子ども会リーダー研修会などへ参加している姿は、県内の中学生・高校生リーダーの模範的な活動となっている。 (一般社団法人 茨城県子ども会育成連合会)

□ 青少年

(敬称略)

NO	氏名	住所	所属等	活動内容(推薦団体名)
2	臼井 涼子	那珂市	ガールスカウト茨城県 第37団成人会員(ブラウ ニー部門リーダー) ガールスカウト茨城県連盟 情報・財務委員会委員	小学2年生から第37団に入団以来、長年にわたりガールスカウト活動を行っている。社会人となった現在も、小学校年少(ブラウニー部門)のリーダーとして活躍している。また、県連盟では広報の一端を担い、若い感性でチラシ作りなど、積極的に活動を行っている。長年にわたり培われた知識と経験を生かし指導に当たっている姿は、少女たちの模範となっている。 (一般社団法人 ガールスカウト茨城県連盟)
3	鈴木 翔太	水戸市	水城高等学校1年 同 硬式野球部	令和6年8月29日の午前中、野球部寮の前で高齢の男性から「水道を貸して欲しい」と頼まれた。猛暑で熱中症になってしまうと危険と考え、自分で購入しておいた2リットルの水を渡すとともに、水道水を使うよう促した。その後、帰宅された高齢の男性から、御礼の電話が高校に届いた。見ず知らずの方に、このままでは危険だと感じ自らの飲料水を渡して大事に至らずに済んだ行為は、人命救助に値するものであり、他の模範となっている。 (茨城県私学協会)

□ 青少年育成団体・青少年育成グループ

(敬称略)

NO	団体名(代表者名)	所在地	設立年月日	構成人員	活動内容(推薦団体名)
4	村田会 (倉持 幸治)	常陸大宮市	2013 ・ 6 ・ 1	15人	常陸大宮市立村田小学校の校庭はもとより、教育的活動に借りている田んぼや畑及びそこに向かう道路等の除草作業を定期的に行っている。また、稲作指導やサツマイモの収穫等の指導、収穫時には学校と連携して行事を展開している。さらに、劣化した花壇の修繕を行うなど、地元小学校へ惜しまない協力をして子どもたちの健全育成に貢献している。 (青少年育成常陸大宮市民会議)

□ 青少年育成指導者

(敬称略)

NO	氏 名	住 所	主な所属等	活 動 内 容 (推薦団体名)
5	さいとう なおや 齋 藤 直 哉	水戸市	水戸市青少年育成推進会議 副会長、理事・青少年社会 参加部会部長・副部長 水戸市青少年相談員連絡協 議会副会長	2000(平成12)年から保育園父母会・ PTAに参加。2007年から15年以上に わたり二中地区青少年育成会の活動に 貢献している。また、本部活動におい ても、「家庭の日」絵画・作文コン クールの充実、青少年健全育成標語塔 の更新、「こどもの安全守る家」周知 活動に関わってきた。さらに2014年か らは青少年相談員として非行防止巡回 活動等多岐にわたり献身的に活動し、 長年にわたり青少年の健全育成運動の 推進に寄与している。 (水戸市青少年育成推進会議)
6	みや べ こういち 宮 部 光 一	水戸市	ボーイスカウト水戸第4団 副団委員長 水戸市ボーイスカウト・ ガールスカウト連絡協議会 幹事 日本ボーイスカウト茨城県 連盟第2地区指導者養成委 員	1994(平成6)年から水戸4団カブ隊 の副長に就任以来、県連盟第2地区指 導者養成委員としても長期にわたり ボーイスカウト活動に尽力されてい る。団野営場の運営管理には献身的に 尽力している。一方、水戸市ボーイス カウト・ガールスカウト連絡協議会の 事業にも積極的に取り組み、ボーイス カウト・ガールスカウトの連絡調整や 会場の確保など実行委員会を下支える など、長年にわたり青少年の健全育成 運動の推進に寄与している。 (日本ボーイスカウト茨城県連盟)
7	ふかや まさゆき 深 谷 政 幸	日立市	前日立市青少年育成推進会 議会長 日立市青少年育成推進会議 顧問	地域コミュニティでの取り組みや日立 中央ロータリークラブでのボランティ ア活動の経験を活かし、2005(平成 17)年から、推進会議理事に就任。 2015年から8年間会長を務め、イン ターネットの安全利用に関する啓発 や、特に家庭で考えるルールづくりの チラシの作成、史跡やひたち郷土かる たのゆかりの場所を巡る事業を実施す るなど、長年にわたり青少年の健全育 成運動の推進に寄与している。 (日立市青少年育成推進会議)
8	あお き なおみ 青 木 尚 美	石岡市	旧石岡市子ども会育成連合 会会長 民間交通指導員(朝の小学 生登校の見守り) 青少年を育てる石岡市民の 会副会長 同 葦穂支部長 市社会教育委員 市家庭教育力向上推進委員	2007(平成19)年から子ども会育成活 動を始め、現在は、石岡市民の会副会 長・葦穂支部長として、葦穂小への サッカーボール・エアゴールの寄贈、 年2回の地域クリーン作戦、小学校運 動会への参加、あいさつ声かけ運動を 実施している。また、柿岡祭礼巡視、 葦穂地区文化祭への参加、110番の家訪 問及び看板設置状況の確認など、地域 と連携を深め、防犯・見守り活動に積 極的に尽力し多大な成果を上げるな ど、長年にわたり青少年の健全育成運 動の推進に寄与している。 (青少年を育てる石岡市民の会)

NO	氏 名	住 所	主な所属等	活 動 内 容 (推薦団体名)
9	あき やま のぼる 秋 山 昇	常総市	坂手地区子ども会育成会 元会長 青少年育成常総市民会議坂 手支部 相談役 坂手町あいあい隊 相談 役・元隊長 『地域親inさかて』刊行委 員会代表	2003(平成15)年、地区子連として現 在の当県青少年協会事業「地域親活動 モデル事業」の指定を受けたことを契 機に、市民会議坂手支部活動の「地域 親&子ども祭り」に発展。現在の「坂 手フェスティバル&子ども祭り」へと 継承されている。 また「子どもは地域で育てる」という 自身の理念から様々な特技を持った地 域親の誕生を手助けするとともに、支 部の広報誌「地域親inさかて」の発行 にも尽力され、20年以上の長きにわた り青少年育成や地域コミュニティづく り、青少年の健全育成活動に寄与して いる。 (青少年育成常総市民会議)
10	いいの ちかこ 飯野 千賀子	笠間市	元ガールスカウト茨城県 第5団成人会員 元ガールスカウト茨城県 連盟指導者委員長 水戸市ボーイスカウト・ガ ールスカウト連絡協議会会計 笠間市社会福祉協議会広報委 員会委員 笠間市地域ボランティア活動 「しだれ桜」委員 NPO法人笠間魅力発信隊会員 等	1982(昭和57)年より成人会員として 長年にわたり活動し、この間、ガ ールスカウト県連盟指導者委員長や同会計 などを歴任し、ガールスカウト運動に 貢献している。また、笠間市では、青 少年をはじめ地域ボランティア活動に 尽力するなど、ガールスカウト活動の 分野以外においても、長年にわたり青 少年の健全育成運動の推進に寄与して いる。 (一般社団法人 ガールスカウト茨城県連盟)
11	こ ばやし かん じょう 小林 貫 誠	筑西市	青少年育成筑西市民の会 副会長、同関城支部長等	2012(平成24)年から関城支部の副支 部長として就任以来、本部事業で行っ ている「少年の主張大会」や「あいさ つ声かけ運動」等への協力はもとよ り、同支部で実施している地域や学校 と連携した「大人と子どもの対話集 会」や「立志のつどい」等の事業に尽 力し、長年にわたり青少年の健全育 成運動の推進に寄与している。 (青少年育成筑西市民の会)
12	さか た まさ あき 坂田 正 明	かすみが うら市	茨城県子ども会育成連合会 副理事長 元かすみがうら市子ども 育成連合会会長	1998(平成10)年から単位子ども会 の会長として企画運営に携わって以来、 市子連の役員を歴任し、地域の子ども 会育成者として活動してきた。2014年 からは県子連理事として2017年からは 副理事長として、子ども会リーダー研 修会をはじめ、子ども会安全啓発中級 指導者の資格を取得し安全な活動を広 める活動や様々な事業の企画運営に尽 力するなど、長年にわたり青少年の健 全育成運動の推進に寄与している。 (一般社団法人 茨城県子ども会育成連合会)